

シュリンキングシティ 日米研究交流セミナー 名古屋 2018

会場：名城大学ナゴヤ
ドーム前キャンパス
地下鉄名城線「ナゴヤドーム前
矢田」、JR 中央線「大曽根」

9月22日(土) 研究集会

13:30 ~ 17:00
DS401 教室

「日本とアメリカのシュリンキングシティ：実態・政策・マネジメント」

参加費無料、参加申し込み
使用言語は日本語

研究発表

野澤千絵（東洋大学教授）
黒瀬武史（九州大学大学院准教授）
吉武俊一郎（株式会社吉武都市総合研究所代表取締役）
矢吹剣一（東京大学特任研究員，アーバンデザインセンター坂井ディレクター）
司会：吉田友彦（立命館大学教授）



バーコードから
申し込めます

申し込み：
<https://goo.gl/forms/hFKxRDcuWOx3kwKI3>

9月23日(日) 講演とシンポジウム

13:00 ~ 17:00
DS ホール (DS101)

「シュリンキングシティを超えてー
日本とアメリカの人口減少都市の
実態・政策・対応ー」

参加費無料、参加申し込み、同時通訳付き

講演・パネリスト



アラン・マラーク Alan Mallach
(センター・フォー・コミュニティ・プログ
レス/シニアフェロー)



テリー・シュワルツ Terry Schwarz
(ケント州立大学クリーブランド・アーバン・
デザイン・コラボレイティブ/ディレク
ター)



饗庭 伸（首都大学東京教授）



浅野純一郎（豊橋技術科学大学大学院教授）

司会：藤井康幸（静岡文化芸術大学教授）
服部圭郎（龍谷大学教授）

問い合わせ：海道清信（名城大学都市情報学部）
shrinkingcitysymposium@gmail.com

人口減少が都市に与える空間変容、コミュニティや生活の質など社会的持続性への影響、それらに対する政策、計画、デザインに関して、アメリカと日本の研究者から報告してもらう。これによって、両国の独自性・特性と共通性を理解するとともに、我が国の人口減少都市の将来、対応策について、理解を深める。

主催： シュリンキングシティ研究会（代表：海道清信・名城大学）
後援： 都市住宅学会 日本都市計画学会 計画行政学会 都市環境デザイン会議、（以下依頼中） 日本建築学会東海支部 なお、本セミナーは、科研費基盤研究B助成研究活動の一環で実施し、大林財団、大幸財団の支援を得ています。